

2015 年度事業計画

自 2015 年 4 月 1 日
至 2016 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人エファジャパン

東京都千代田区九段南 3 - 2 - 2 九段宝生ビル 3 階

2015 年度海外事業計画

1. ベトナム

児童ソーシャルワークセンター支援

ハイフォン市児童ソーシャルワークセンターの活動を支援。ハイフォン市の 3 つの地域(ギアサー町、ドンケー町、タンズオン村)で支援を必要とする子ども達を対象としたプログラムを通して、困難な状況下にある子ども達へのカウンセリング、文房具の寄贈、子どもの権利啓発活動などを実施。また、犯罪を犯した青少年達が生活しながら勉強するニンビン第二教養学校で退所後の生活についてカウンセリングを継続的に実施。

アジア子どもの家奨学金基金

栃木県本部が支援しハイフォン市児童保護基金が管理する奨学金事業で、困難な状況にある子ども達 50 名に 1 人当たり 100 万ドン(約 5,500 円)の奨学金と 10 万ドン(約 550 円)のギフトを支給。100 万ドンで購入できる文房具は、ノート 40 冊、ボールペン 40 本、消しゴム 15 個、色鉛筆 3 ダース、三角定規 2 セット、はさみ 1 丁、糊 10 本、セロテープ 5 本。或は、子どもの食費 1.5 カ月分。

障がい児支援

連合愛のカンパによる支援で、ハイフォン市の 3 つの地域(ドンクオックビン地区、ティエンラン町、タンフォン村)の障がい児教室で活動用具の寄贈や担当職員の給与補填、イベントでの発表会や障がい児啓発のための講習を実施。

岡山県本部の支援で、ハイフォン市農村部に位置するフンティエン村障がい児教室の活動支援を継続。活動用具の寄贈や担当職員の給与補填、障がい児啓発のための講習や保護者を対象としたリハビリ研修を実施。

書き損じ葉書による支援で、ハイフォン市の障がい児施設に機材を寄贈。

その他

自治労布袋の製作を請け負っていたベトナム子どもの家が児童ソーシャルワークセンターに改編されたのに伴い、今年から自治労布袋はハイフォン市聾学校で製作。

布袋の売り上げ予定枚数：6,290 枚 布袋の売り上げ予定総額：2,830,500 円。

2. ラオス

ヴィエンチャン市立図書館支援

東海地連の支援により、引き続き図書館の運営費を支援。

ラオス図書館協会支援

ラオス図書館協会の運営能力強化支援を継続。協会機関誌の発行、図書館協会職員対象の図書館研修、地方での図書館調査、国際会議参加の旅費、スタッフの人件費の補填などを支援。

コミュニティ図書館・図書室への支援

静岡県中東遠総合医療センター職員労働組合の支援により、静岡県本部の支援で建設されたノンセンチャン村コミュニティ図書館へ事務用品を寄贈、図書館開館のための担当職員超過勤務手当を支給。

新潟県本部の支援で建設されたタトーン村コミュニティ図書館の継続支援で、本や事務用品の寄贈、図書館開館のための担当職員超過勤務手当の支給、隣村での読書推進活動を実施。

青森県本部の支援により建設されたドンクワイ村図書館の継続支援で、本を購入・寄贈。

個人の方の支援により設置された各コミュニティ図書室をモニタリング。

書き損じ葉書による支援で、個人の方の支援により設置された各コミュニティ図書室に本を寄贈。

三重県本部の支援で、ヴィエンチャン都郊外のサンパンナ村小学校の敷地内にコミュニティ図書館を建設。

小学校支援

東海地連の支援により、サバナケット県郊外のナーハンケ村小学校の校舎を建設。

3. カンボジア

子どもの家（国立幼稚園教員養成学校）への奨学金

10月から訓練生 25 名に月 25 ドルを 10 カ月間支給する。

退職された保育士で元自治労組合員の荒川智子氏のボランティア活動を資金援助する。

スラム再定住地センソク地域での寺子屋教室支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

教員の給与補助を通じて支援を継続する。

カンダール県での就学前教育教室支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

福岡県本部の支援による就学前教育教室の運営支援を継続する。

終了したプノンペン市内寺子屋教室支援のフォローアップ

日曜日のみ開講している 2 カ所の補習教室では、担当するフィールドワーカーの給与補助を通じて支援する。

タイ国境地帯の寺子屋教室支援（カンボジアの NGO、SCADP との共同事業）

兵庫県本部ならびに九州地連支援で、プレアビヒア県のタイ国境地帯にある 14 カ所の寺子屋教室の運営を支援する。

日本政府「外務省 NGO 連携無償資金援助」への申請準備を進める。

SCADP プノンペン児童保護施設支援

熊本県本部の支援で、保護児童の生活改善を継続する。

SCADP プリアビシア児童保護施設支援

沖縄県本部の支援で、児童保護施設内の男子寮を建設する。

RR 厚生会（大阪市従 OB/OG の会）の支援で、新男子寮のトイレを建設する。

SCADP 支援

SCADP プノンペン児童保護施設出身の大学生 2 名への奨学金を継続する。

最低月 2 回のスタッフ・トレーニングを補助する。

4. タイ

ミャンマー労働組合連盟（FTUM）が運営するミャンマーからの移住労働者子弟の教育施設パラミ・ラーニングセンターでの大阪府本部の交流を準備する。

5. 緊急援助

災害・紛争などの緊急事態には、事業国以外でも可能な限り対応する。

以上

2015 年度国内事業計画

1. 組織拡大

- ・自治労県本部や単組への働きかけを継続的に行ない、会員・エファパートナーの加入拡大につとめる。新規加入促進だけでなく、継続のためのフォローアップにも力を入れる。
また、労働者福祉協議会や企業など自治労以外の組織への働きかけも行なっていく。
- ・新しい会員制度を自治労中央本部と検討する。

2. 書き損じハガキ収集

- ・前年度に引き続き、書き損じハガキの収集活動を積極的に展開し、ポスターの配布等を通して自治労県本部・単組へ協力を呼びかける。
- ・協力いただける県本部・単組にハガキ回収箱を配布し、設置・回収をお願いする。

3. 集会・イベント

- ・自治労定期大会(8月)にブースを出展し、パネル展示による活動紹介やグッズ販売等を行なう。
- ・組合、他団体主催の集会・イベントへの展示パネルの貸出しを行なう。
- ・西東京市および職労の子どもの権利啓発セミナーを助成する。

4. 学習会

- ・主に自治労組合員を対象に、子どもの権利に関連した学習会を実施する。

5. ネットワーキング

- ・エファジャパンの理念に合致する社会的ネットワークに参加し、他 NGO 団体、労組等との連携強化をはかる。
 - ・国際協力 NGO センター (JANIC) (正会員・継続)
 - ・児童労働ネットワーク (CL-Net) (団体正会員・継続)
 - ・子どもすこやかサポートネット (団体正会員・継続)
 - ・NGO 労働組合国際協働フォーラム (会員団体・継続)
 - ・東南アジアの障害児に車椅子を贈る会 (賛助会員・継続)
- 但し、今後必要に応じて参加ネットワークの整理・見直しを検討していく。

6. 認定NPO法人取得準備

- ・寄付を受けやすい環境を整えるため、認定NPO法人取得をめざし、申請準備を進める。

以上

2015 年度広報事業・その他計画

1. 広報活動

(1) 2014 年度から継続（実施内容を変更しないもの）

- ・年次報告書の作成（2014 年度年次報告書／年 1 回）
- ・広報誌『えんばわ』の発行（年 4 回：37～40 号）
※37 号からデザイン改訂
- ・メールマガジンエファ通信の発行（月 1 回～）
- ・自治労プレスリリース（月 1 回程度）
- ・エファジャパンパンフレット印刷（増刷）
- ・エファジャパンHP、Facebook ページ等管理・更新
- ・書き損じハガキ募集ポスターの印刷・配布
- ・古本リサイクル募金広報
- ・自治労通信裏面広告

(2) 2014 年度からの繰越

- ・団体設立 10 周年誌（2014 年度予算超過のため 2015 年度予算に組み直し）

(3) 2015 年度新規

- ・えんばわ誌面デザインに Adobe Creative Cloud を導入
- ・えんばわ 37 号に単組あて供覧依頼文添付
- ・エファジャパンロゴマークのデータ改良
- ・書き損じハガキ募集デザイン（中学・高校生向け）作成

2. ボランティア

- ・エファボラデー（月 1 回）
- ・ボランティア交流会
- ・デザインボランティア（自治労裏面広告、ポスター、等）

3. 外部企業等との提携による募金・寄付活動

- ・インターネット募金（Yahoo!ネット募金、gooddo）

4. 開発教育

- ・開発教育プログラム制作

以上